

今年度も残すところ半年。この上半期は、国内あるいは広島において、歴史に残る大きな出来事が数多くあったと思いますし、また、私自身にも変化がありました。

4月、熊本大地震に見舞われました。災害の犠牲となられた皆さまに対しまして深く哀悼の意を表しますとともに、被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。この地震による負傷者と大きなダメージを受けた医療機関支援のために中国5県からもたくさんのDMATが編成され、交通網もライフラインも遮断されているにもかかわらず真っ先に被災地に駆けつけて人命救助活動に当たっています。大きな余震が続く中、危険を顧みず人命救助に取り組む医療関係者の皆さまに深く敬意を表する次第です。

自然災害では、台風等による洪水により、福山市、東北・北海道で甚大な被害を受けました。自然の猛威は防ぎようのないことかも知れませんが、被害を最小限に抑える不断努力、また、被災時の備えというものがいかに大切かということを改めて考えさせられる出来事でした。

5月、伊勢志摩サミット開催に合わせ、オバマ大統領が被爆地広島を訪れました。現役アメリカ大統領の訪問は初めてのことです。オバマ大統領の広島訪問には、その是非について米国内で論争があったようですが、これまでのタブーを打ち破る勇気と、原爆犠牲者に献花し、核なき世界の追求を訴えたスピーチには感動を覚えました。

7月、参議院議員選挙。公職選挙法が改正され、18歳以上に選挙権が付与されて初めての国政選挙でした。18歳・19歳の投票率は全体（54.7%）に比べやや低かったようですが、二十歳の頃の自分と比べると若者の政治への関心は高い気がします。我々行政としては、政治や行政にもっともっと関心を持って貰えるよう、学校教育に年金や医療・介護保険など社会保険の授業を取り入れ、将来、社会のインフラやセーフティネットはどうあるべきかを考える機会を提供する必要があると思います。

8月、リオのオリンピック・パラリンピック。日本選手の活躍に涙なくては見られない場面も多く、心に残る多くの感動と喜びを与えていただきました。4年後の東京でも素晴らしい熱戦を期待しています。

9月、広島カープ25年ぶりとなるリーグ優勝。おめでとうございます。広島に住んで、ファンならずとも地元球団の勝利は嬉しいものです。頂点は目の前です。北の大地のチームに勝って平成時代の金字塔を打ち立てて欲しいものです。



○旧市民球場跡地にある、広島東洋カープ日本シリーズ優勝記念碑
(1975年、1980年、1984年)



○広島平和記念資料館に展示された、オバマ大統領が作成した折り鶴

私事では、4月の人事異動で人生2回目、4年振りとなる単身生活が始まりました。一人でも特段の不自由はないのですが、強いて挙げれば食生活でしょうか。うるさい家人の目がないことをいいことにアルコール量が増え、野菜の摂取が極端に減っているのでしょうか。測ってはいないですが、怠惰な生活ゆえきつと体重も増えているはずです。特定健診を控え、たまに太田川沿いをウォーキングするのですが、一夜漬けみたいな運動では効果は望めず、今回もまた特定保健指導の対象にランクインすることは想像に難くありません。

ところで、国民医療費は毎年1兆円規模で膨らみ平成25年度には40兆円を超え、高齢化の進展、医療の高度化や高額薬剤の保険適用等により、今後さらに増え続ける見込みです。

一方で、平成20年度から医療費を抑える目的で導入した特定健診の実施率は、全医療保険の対象者5,400万人のうちの48.6%、特定保健指導にあつては対象者440万人のうち17.8%（いずれも26年度実績）と極めて低調です。自分の健康を守り、また、少しでも医療費の伸びを抑制し、今の医療保険制度を将来世代に確実に引き継ぐためにも、皆さま、特定健診・特定保健指導を必ず受けましょう。生活習慣病の防止と病気を早期発見し重症化を予防することは、今すぐ個人でどなたでも始められ、それは医療保険制度を守ることに繋がります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。